2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月５日

上場会社名　株式会社日伝　　上場取引所　東
コード番号　9902　ＵＲＬ　https://www.nichiden.com/
代表者　（役職名）代表取締役　社長執行役員　（氏名）福家　利一
問合せ先責任者　（役職名）取締役　常務執行役員　管理本部長　（氏名）寒川　睦志　ＴＥＬ　06-7637-7000
半期報告書提出予定日　2026年11月10日　配当支払開始予定日　2026年12月７日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	82,227	22.2	4,436	58.2	4,765	46.6	4,017	83.4
2026年３月期中間期	67,280	3.6	2,804	△3.7	3,250	7.7	2,190	8.4

（注）包括利益　2027年３月期中間期　6,140百万円（78.8%）　2026年３月期中間期　3,434百万円（246.0%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	137.02	―
2026年３月期中間期	74.18	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	132,868	95,219	71.7
2026年３月期	127,639	91,897	72.0

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　95,219百万円　2026年３月期　91,897百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	35.00	―	35.00	70.00
2027年３月期	―	60.00			
2027年３月期（予想）			―	60.00	120.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	165,000	17.0	8,600	29.9	9,200	23.2	6,900	34.9	236.71

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無
　　新規　ー社　（社名）、除外　ー社　（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
　①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無
　②　①以外の会計方針の変更　　：無
　③　会計上の見積りの変更　　：無
　④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	30,000,800株	2026年３月期	30,000,800株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	1,049,672株	2026年３月期	462,472株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	29,320,185株	2026年３月期中間期	29,530,499株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 5
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、AI関連を中心とした米国およびアジア向け輸出が堅調に推移するとともに、中東情勢による影響も限定的であったことから、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループを取り巻く機械器具関連業界におきましては、AI・半導体関連業界が好調に推移する一方、急激な需要増に対し供給面ではバランスを欠き、部品や資材の調達リードタイムの長期化がみられましたが、既存設備の更新需要や人手不足対策等を背景に設備投資は底堅く推移いたしました。

このような状況の下、第４次中期経営計画『New Dedication2026』～新たな貢献へ～の最終年度の取り組みを着実に実行することにより、継続的な成長と持続可能な社会の実現に取り組んでおります。

具体的には、各種展示会への出展に加え、グループ会社である株式会社アペルザが開発したAI業務支援システム「アペルザDESK」のPR活動を本格化いたしました。企業のバックオフィスにおいても人手不足が顕在化し、組織の生産性向上が喫緊の課題となる中、受発注業務の効率化を実現する「アペルザDESK」の提案活動を進めてまいりました。

設備面では、埼玉MEシステム１課・２課・開発課および業務グループが蓮田物流センター内の新事務所に移転し、７月より業務を開始いたしました。また、８月には蓮田物流センターが稼働を開始したほか、同月、手狭となっておりました松本営業所を新築移転いたしました。

この結果、当中間連結会計期間におきましては、売上高822億２千７百万円（前年同期比22.2%増）、営業利益44億３千６百万円（前年同期比58.2%増）、経常利益47億６千５百万円（前年同期比46.6%増）となり、親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、40億１千７百万円（前年同期比83.4%増）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ52億２千８百万円増加し、1,328億６千８百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ25億８千３百万円増加し、861億２百万円となりました。これは、現金及び預金が14億７千７百万円、有価証券が35億７百万円それぞれ減少したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が17億１千６百万円、電子記録債権が30億７千５百万円、商品及び製品が29億６千４百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ26億４千５百万円増加し、467億６千５百万円となりました。これは、有形固定資産が10億４千２百万円、投資有価証券が16億９千６百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

当中間連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ19億６百万円増加し、376億４千８百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ12億５千５百万円増加し、281億２千８百万円となりました。これは、電子記録債務が８億１千３百万円、未払法人税等が７億８千７百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ６億５千１百万円増加し、95億１千９百万円となりました。

純資産は、自己株式の取得及び処分により16億８千６百万円減少したものの、利益剰余金が28億８千５百万円、その他有価証券評価差額金が18億７千８百万円それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ33億２千２百万円増加し、952億１千９百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ９億１千２百万円減少し、152億９千４百万円となりました。

当中間連結会計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、23億５千７百万円（前年同期において得られた資金39億６千２百万円）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益が60億２千９百万円、減価償却費が６億８千６百万円、仕入債務の増加額が17億９千９百万円あったものの、売上債権の増加額が51億３百万円、棚卸資産の増加額が29億７千２百万円、法人税等の支払額が12億８千２百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、43億６千４百万円（前年同期において使用した資金８億２千４百万円）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が21億８千７百万円あったものの、定期預金の払戻による収入が７億４千４百万円、有価証券の償還による収入が40億円、有形固定資産の売却による収入が10億２百万円、投資有価証券の売却及び償還による収入が11億９千７百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、30億１千１百万円（前年同期において使用した資金15億４千３百万円）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出が17億５千８百万円、配当金の支払額が10億３千４百万円あったこと等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の通期連結業績予想につきまして、2026年７月31日に公表した通期連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,447	15,969
受取手形、売掛金及び契約資産	21,990	23,707
電子記録債権	22,029	25,104
有価証券	5,510	2,002
商品及び製品	15,295	18,259
その他	1,252	1,065
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	83,519	86,102
固定資産		
有形固定資産	22,448	23,490
無形固定資産		
のれん	1,885	1,791
顧客関連資産	328	307
その他	604	619
無形固定資産合計	2,817	2,718
投資その他の資産		
投資有価証券	17,605	19,301
その他	1,254	1,260
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	18,853	20,556
固定資産合計	44,119	46,765
資産合計	127,639	132,868
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,568	14,925
電子記録債務	7,960	8,774
未払法人税等	1,328	2,116
賞与引当金	684	659
その他	2,331	1,653
流動負債合計	26,873	28,128
固定負債		
退職給付に係る負債	86	90
その他	8,781	9,428
固定負債合計	8,868	9,519
負債合計	35,742	37,648
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,368	5,368
資本剰余金	6,283	6,283
利益剰余金	72,333	75,219
自己株式	△1,358	△3,044
株主資本合計	82,627	83,826
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,826	10,704
為替換算調整勘定	444	688
その他の包括利益累計額合計	9,270	11,392
純資産合計	91,897	95,219
負債純資産合計	127,639	132,868

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	67,280	82,227
売上原価	57,135	69,846
売上総利益	10,144	12,381
販売費及び一般管理費	7,339	7,944
営業利益	2,804	4,436
営業外収益		
受取配当金	197	234
仕入割引	145	172
その他	189	160
営業外収益合計	532	567
営業外費用		
支払利息	71	64
固定資産処分損	3	4
為替差損	－	95
不動産賃貸原価	8	28
その他	3	46
営業外費用合計	86	238
経常利益	3,250	4,765
特別利益		
固定資産売却益	－	696
投資有価証券売却益	11	568
特別利益合計	11	1,264
税金等調整前中間純利益	3,262	6,029
法人税、住民税及び事業税	1,082	2,045
法人税等調整額	△11	△33
法人税等合計	1,071	2,012
中間純利益	2,190	4,017
親会社株主に帰属する中間純利益	2,190	4,017

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	2,190	4,017
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,364	1,878
為替換算調整勘定	△120	244
その他の包括利益合計	1,244	2,122
中間包括利益	3,434	6,140
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	3,434	6,140

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	3,262	6,029
減価償却費	615	686
のれん償却額	94	94
有形固定資産売却損益（△は益）	－	△696
投資有価証券売却損益（△は益）	△11	△568
売上債権の増減額（△は増加）	314	△5,103
棚卸資産の増減額（△は増加）	464	△2,972
仕入債務の増減額（△は減少）	580	1,799
その他	△363	△571
小計	4,957	△1,300
利息及び配当金の受取額	247	290
利息の支払額	△71	△64
法人税等の支払額	△1,171	△1,282
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,962	△2,357
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△251	△180
定期預金の払戻による収入	51	744
有価証券の償還による収入	1,000	4,000
有形固定資産の取得による支出	△2,095	△2,187
有形固定資産の売却による収入	40	1,002
投資有価証券の取得による支出	△74	△91
投資有価証券の売却及び償還による収入	527	1,197
その他	△22	△119
投資活動によるキャッシュ・フロー	△824	4,364
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,331	△1,034
リース債務の返済による支出	△196	△201
自己株式の取得による支出	－	△1,758
その他	△15	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,543	△3,011
現金及び現金同等物に係る換算差額	△70	92
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,523	△912
現金及び現金同等物の期首残高	15,037	16,206
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	24	－
現金及び現金同等物の中間期末残高	16,585	15,294

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

当社グループの事業は、動力伝導機器、産業機器、制御機器等の機械設備及び機械器具関連商品の販売並びにその他の事業であります。ただし、その他の事業の重要性が乏しいため、記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2026年５月８日開催の取締役会決議に基づき、当中間連結会計期間において自己株式600,000株の取得を行いました。これを含む自己株式の取得及び処分の結果、当中間連結会計期間において自己株式が1,686百万円増加したことにより、当中間連結会計期間末において自己株式が3,044百万円となっております。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。